



講演会 町田方面延伸における 多摩のまちづくりと モノレール

会場 町田市民フォーラム

2026 年 7 月 11 日（土）14 時 00 分～ 16 時 00 分

本講演会では、町田方面延伸が計画されている多摩モノレールをテーマに、モノレールが都市構造やまちづくりに与える効果、沿線地域の変化、交通と都市政策の関係について解説します。
延伸計画の概要や期待されるまちの将来像を、行政担当者の視点からわかりやすく紹介するとともに、市民の皆さまと共にこれからの町田のまちづくりを考えます。

開催趣旨

多摩都市モノレール町田方面延伸は、町田市における交通利便性の向上にとどまらず、沿線地域のまちづくり、地域経済の活性化、暮らしやすい都市環境の形成にも関わる重要な取り組みです。

町田市内の鉄道駅は市域の外縁部に位置しており、市内を東西・南北に移動しやすくする新たな公共交通システムの整備が求められてきました。また、多摩地域の都市間連携を深めるうえでも、南北方向の公共交通網の充実は大きな意味を持ちます。町田市も、町田方面延伸はこれらの課題解決と、多摩地域全体の発展につながるものとしています。

本講演会では、東京都都市整備局より、多摩都市モノレール延伸に関するこれまでの歩みや現在の状況、今後のまちづくりとの関わりについてご講演いただきます。モノレールが町田のまちにもたらす可能性を、地域の皆さまとともに考える機会といたします。

町田方面延伸について

多摩都市モノレールは、多摩地域の都市間連携を強化し、南北方向の公共交通を充実させることを目的として整備されました。現在は、多摩センター駅から上北台駅までの約16キロメートルで運行されています。

町田方面延伸は、この多摩都市モノレールを多摩センター駅から町田方面へ延ばし、町田市内の移動環境を大きく高めることが期待されている計画です。2016年には、国の交通政策審議会答申において、「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現するうえで意義のあるプロジェクトとされ、事業化に向けた具体的な調整を進めるべき路線として位置づけられました。

モノレールの整備には、軌道桁や支柱、駅などを設置するための道路空間の確保が必要となります。町田市では、東京都と協力しながら、導入空間となる道路整備や沿線まちづくりに向けた取り組みを進めています。

稲垣康治 町田市長 ご挨拶



多摩都市モノレール町田方面延伸は、多摩地域の南北方向の公共交通をより充実させるとともに、町田市内の移動の利便性を高める基幹交通としての役割を担う、重要な取り組みです。

さらに、中心市街地に新たな賑わいと交流を生み出すための再開発や、高経年化が進む大規模団地の再生、沿線公園の整備推進など、モノレール沿線の魅力向上並びに活性化を一層進めるためのまちづくりの契機となるものです。

このように、多摩都市モノレール町田方面延伸は、市民の皆さんが安心して快適に住み続けられるまちであるために、また、多くの来街者が訪れ、賑わいと交流が生まれ続けるまちであるために不可欠な事業であり、市民の皆さまのご期待を原動力に、この事業を力強く、そして確実に成し遂げるという決意を新たにしています。

今後も、東京都などと連携し、早期の延伸実現に向けた取組を着実に進めてまいります。



講演会次第

開催日 2026 年 7 月 11 日（土）

14：00 開会

14：20 講演開始

東京都都市整備局 都市基盤部長 澤井 正明

町田市都市づくり部 中心市街地・モノレール推進担当部長 萩野 功一

15：50 講演終了

16：00 閉会

登壇者紹介

東京都 都市整備局 都市基盤部長 澤井正明 氏

平成 2 年入都。街づくり、オリンピック・パラリンピック関連などの業務に従事。平成 21 年都市整備局市街地整備部副参事（多摩市派遣）、令和 4 年都市整備局まちづくり調整担当部長、令和 6 年都市整備局多摩まちづくり政策部長、令和 8 年都市整備局都市基盤部長 現在に至る。

町田市 都市づくり部中心市街地・モノレール推進担当部長 萩野功一 氏

昭和 63 年町田市役所入庁。下水道、道路、街づくり、都市計画などの業務に従事。令和 4 年道路部長、令和 6 年都市づくり部長、令和 7 年都市づくり部中心市街地・モノレール推進担当部長 現在に至る。

多摩モノレールと町田方面延伸の歩み

1960 年代	多摩ニュータウン開発に伴い新交通導入検討開始（東京都）
1981 年	多摩都市モノレール等基本計画調査（構想路線約 93km）（東京都）
1990 年	多摩都市モノレール 建設工事着工
1998 年	多摩都市モノレール 立川北～上北台間 5.4km 開業
2000 年	多摩都市モノレール 多摩センター～立川北間 10.6km 開業
2000 年	運輸政策審議会答申で町田方面延伸が 「今後整備について検討すべき路線（B）」に位置付け（国）
2008 年	町田商工会議所・まちづくり委員会でモノレール延伸推進活動を正式開始（町田商工会議所）
2011 年	関係団体に「モノレール延伸推進の為の協議会」設立を提言（町田商工会議所）
2013 年	町田方面延伸促進協議会 設立（町田市）
2014 年	「多摩都市モノレールを町田に呼ぼう」プロモーション DVD 製作（町田商工会議所）
2015 年	モノレール延伸署名活動実施・東京都へ 105,930 人分提出（町田商工会議所）
2016 年	交通政策審議会答申第 198 号（多摩センター～町田）が 「意義のあるプロジェクト」に位置付け（国）
2018 年	東京都「鉄道新線建設等準備基金」創設（東京都） 多摩モノレール延伸〔上北台～箱根ヶ崎・多摩センター～町田〕を対象に位置付け
2018 年	町田市「町田市多摩都市モノレール基金」創設（町田市） 将来の駅周辺整備・まちづくりに備え基金積立を開始
2018 年	忠生地区町内会自治会連合会が署名 11,164 筆を小池都知事へ提出（地域団体）
2019 年	町田都市計画道路 3・3・36 号線の事業用地を先行取得（町田市）
2019 年	ルート検討委員会 設置（東京都）
2020 年	町田モノレール未来駅パース・模型作成（町田商工会議所）
2021 年	「未来の乗せ 僕らのまちにモノレール」町田未来駅シンポジウム開催（町田商工会議所）
2021 年	多摩都市モノレール町田方面延伸ルート検討委員会 ルート選定
2023 年	東京都議会本会議でモノレール町田方面延伸請願書採択（町田商工会議所）
2023 年	隈研吾氏による「モノレールと町田のまちづくり」講演会開催（関係団体）
2024 年	「モノレール沿線まちづくり構想」策定（多摩市・町田市）
2024 年	NP0 法人多摩モノレールとまちづくり設立（NP0）
2025 年	第 1 回東京都都市整備局「多摩のまちづくりとモノレール」講演会 （町田相模原経済同友会）
2026 年	第 2 回「多摩のまちづくりとモノレール」講演会開催（NP0・町田市）

主催・共催・後援

主催 NP0 法人 多摩モノレールとまちづくり

共催 町田市 モノレールまちづくり推進室

後援 町田・相模原経済同友会

町田商工会議所